

まちのスケッチブック

泉佐野発→日本一の「ひとづくり」のまちへ

第45号

9月議会

ちよまつ ひろやす
泉佐野市議会議員 **千代松 大耕** (33歳)



防災を考える

9月1日は防災の日、8月30日～9月5日は防災週間となっております。毎年この時期に泉佐野市では総合防災訓練が開催されています。

ここ数年、国内外におきまして想像を絶する災害が頻繁に発生しております。災害がいつ、どこで発生するかは予期することができません。しかし災害が発生したときには迅速な措置を施し、かつ被害を最小限に抑えること、また平素からの十分な備えを怠らないことが行政の重要な役割ではないかと考えます。ここ10数年間の大きな地震の発生は1995年の阪神・淡路大震災、2001年の芸予地震、2003年の宮城連続地震、同年の北海道の十勝沖地震、2004年には、新潟中越地震、ここ10数年間に震度5以上の主な地震は国内で14回も発生しております。ま

た国外においては、インドネシア・スマトラ沖地震などの大災害が発生し、地球大異変ともいえる今日の状況であります。そして東海地震・東南海・南海地震の大規模地震は、今世紀前半の発生確率が50～60%と懸念されております。そういった中で住民の防災への関心がここ数年で一気に高まってまいりました。

また災害発生時には「自助」「共助」「公助」と言われております。災害発生時に被災が大きければ大きいほど、公的防災力での対処には限界があるということが言われています。そういった中で地域コミュニティの防災力「共助」を高めていくことや住民の自主防災意識「自助」を高めていくことがとても重要であると言われるようになりました。阪神・淡路大震災のときに家の下敷きになり助かった人の割合では自力で脱出した人、つまり「自助」が約80%を占め、公的な救助活動によって助けられた「公助」は5%に過ぎませんでした。残りの約15%は地元防災組織によって助けられた「共助」でありました。このように地域での防災力を高めていくこと、そしてそのための防災組織の結成がいかに重要かは阪神・淡路大震災で証明されたわけであります。日ごろ充実した防災活動をされている組織こそ災害時になくてはならない組織だと考えます。以上のような観点から9月議会におきましては自由民主党泉佐野市議会議員団を代表して「防災について」を質問いたしました。

9月議会代表質問

「十分な備えはできているのか？」

千代松：国内外で想像を絶する災害が発生している中において住民の防災への意識が高まっている。行政にとって「住民の生命と財産を守る」ということは最も基本的な仕事であるとともに、最も重要な仕事である。災害が発生したときへの対応として十分な備えはできているのか？

答弁：災害発生時には「泉佐野市地域防災計画」に基づいて対応をする。地震、津波、風水害などそれぞれのケースによって職員の配備体制を徹底している。また避難場所の開設などの迅速な対応にも努めていく。備蓄については未広公園防災倉庫に整備しているが必要量を確保できないときは府の備蓄食料などの調達を図っていく。

「地域防災力の向上について」

千代松：実践的な訓練など、日ごろ充実した防災活動をされている組織こそ災害時になくならない組織である。このような組織の結成、活動に対する積極的な支援を行政としてもこれからは十分に行なっていかなければならないと考える。泉佐野市としては大災害の発生確率が高い今、実効性のある防災指導、そして防災組織の結成などに一層の力を注ぐとも防災意識の啓発を図るなどをして地域防災力の向上に努めるべきであると考えますか？

答弁：市民の方が平素から防災意識を持っていただいたために「防災ガイド」を全戸配布した。また住民参加型の総合防災訓練の実施や出前講座の開催などで啓発に努めている。そして地域住民が相互に助け合い人命救助や初期消火に努めていただくことが災害時の被害軽減にとって大変重要である。自主防災組織の普及にこれからはさらに努めていく。

生ごみ処理機

9月議会的一般会計補正予算中に「生ごみ処理機購入助成金」として600万円が計上されていました。家庭から排出される生ごみの減量化及び再資源化を図るもので9月議会に上程されました。今回の助成対象となるものは生ごみを堆肥化または過熱、乾燥によって減量化するもので3万円を上限としています。また平成18年4月1日以降に購入された方につきましても助成の対象となっています。これにつきましては9月議会での可決後10月1日から実施されています。

今後の「かけはし」予定

千代松大耕が市民のみなさまと市政をつなぐ架け橋となるため、市政懇話会「かけはし」を月に一回開催しています。前半は私がその時々テーマをお話します。後半は市民の方々と意見交換やご質問にお答えいたします。どなたの参加もOKです。お待ちしております！

参加費 無料

第22回「かけはし」…11月23日(木)	● 場所 泉の森ホール 2F 小会議室
第23回「かけはし」…12月28日(木)	● 時間 19:30～20:30

携帯用メールマガジン 開設しました!



DoCoMo/au用 vodafone用

携帯版「千代松大耕のニュースレター」の購読を希望される方は、上記のバーコードを携帯電話で読み取るか、
<http://mini.mag2.com/> または「千代松大耕ホームページ」から登録してください。

千代松大耕プロフィール

1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
1986.3 泉佐野市立第一小学校 卒業
1989.3 泉佐野市立佐野中学校 卒業
1992.3 同志社香里高等学校 卒業
1996.3 同志社大学経済学部 卒業
1998.7 米国Lincoln University 大学院 修了
2003.3 大阪府立大学大学院 修了
2005.3 和歌山大学大学院 修了

1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
2000.2 泉佐野市議会議員初当選
2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選
2006.5 泉佐野市議会議員3期目当選

(議会)
2003.5 市町村合併検討委員長
2004.5 第61代副議長
2005.5 厚生文教委員長
2006.5 監査委員

(現在) (社) 泉佐野青年会議所 監事
(NPO) 大阪夢づくり協議会 理事
泉佐野市バレーボール連盟 会長
泉佐野市柔道連盟 理事
佐野中校区青少年指導員会 幹事長
泉佐野市交通指導員
泉佐野市私立幼稚園連合会 顧問
泉佐野青空市場活魚協同組合 顧問
(社) 全国自衛隊父兄会泉南支部 顧問
同志社大学体育会アメフト部OB会 常任理事
看護を考える市町村議員の会 副幹事長
自由民主党泉佐野支部 政務調査会長

りびくらフットサルコートオープン

9月議会には「泉佐野市都市公園条例の一部を改正する条例制定について」という議案が上程されていました。その内容はりんくうタウンプレミアムアウトレット横に新しくできた「フットサル」コート(10月10日オープン)の料金設定などでした。土地はもともと大阪府のものでしたが、このコートはアウトレットさんが地域貢献のためと作ってくれたものです。それを泉佐野市に寄贈し、指定管理者の公園緑化協会が管理運営をしていくことになります。料金は1時間の使用が1コート5,000円となります。この金額が高いか安いかの議論はありましたが、おおよそ民間のフットサルコートの半額ぐらいであります。また照明代は1時間500円です。

市民病院跡地にフットサルのコートがありました。多くの方々が利用されていましたが、私も利用したことがあります。現在は閉鎖となっています。利用されていた方々が存続を望む声は私にも届きましたが残念ながら力不足で閉鎖となってしまいました。市民病院跡地のコートを利用されていた方々やこれから利用される泉佐野市民の方々にとってこの新しいコートが利用しやすいものとなるように努めていきます。

目三集会で意見交換をしませんか?

2～3人の少人数でも構いませんので、市や地域の課題に関して、千代松大耕と意見を交換したいという方はご連絡ください。平日・午前中・昼間でもスケジュールが合えば、どこにでもお伺いします。

千代松大耕メールマガジン

「千代松大耕のニュースレター」を発行しています!

市政や議会の情報をいち早く市民のみなさまに、お伝えするためにメールマガジンを発行しております。(週に3～4回は、発行しています)

メルマガの登録は、千代松大耕のホームページ、または下記のアドレスからできます。

ホームページアドレス: <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

登録ページアドレス: <http://www.mag2.com/m/0000156662.html>

ひとりでも多くの方に登録していただければ幸いです。

※検索サイトで「千代松大耕」と検索していただければ、私のホームページにヒットします。

連絡先 泉佐野市松原2-5-31

T E L 458-1708

F A X 469-0311

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

メール chiyoma51@hotmail.com

発行部数累計 542,500部 2006.10第45号

*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。